

学校点描

土曜日の体育祭は、参観する人数を限定しているため、その様子をDVD等で配布しようかと考えています。

《K中学校》

NO.10 R2. 9.01

担当：校長

9月3日は地区英語弁論大会です。3年生のH・NさんとN・Kさんが参加する予定です。体育祭準備もある中、放課後二人は、ALTのパコさんの指導を受けながら一生懸命練習を積んでいます。

9月5日の体育祭翌日は、金山町防災訓練の日です。部活動も休みにしております。訓練には全中学生の参加要請がきています。また、西郷地域（漆野、谷口、朴山、板橋、長野）の中学生は、避難訓練だけでなく、教育文化資料館にて様々な訓練に参加してもらうことになっています。どうぞ、ご家族でご参加願います。

9月9日19:00より中央公民館で県立高校再編整備計画の説明会が開催されます。金山高校をはじめ、最上地区の高校が今後どのように変わっていくのか気になるところです。保護者の方にも別に案内の文書を配布しておりますので、是非ご参加いただければと思います。

感受性の光

生徒の心を育てたいと学校は常に考えています。校舎内の掲示物を見て回ると、1年生の廊下にある掲示物の中に、その日の担当の生徒が新聞記事を読んで、自分の意見を書くというのがありました。この日は、1AのS・Aさんのようです。1匹のカメムシの背中に♡があった記事を取り上げています。書き出しに「わたしは、カメムシは苦手な方ですが、『背中にハートマーク』は面白いと思いました。」と書いてありました。小さな記事ですがよく探したものです。こんな所にも中学生の感性を感じます。



また、同じく気になったのは、各教室の入り口に貼られているポスターです。その内容は、生徒会で呼びかけた“あいさつボランティア募集”です。毎朝のあいさつ運動を生徒会役員だけではなく、より多くの生徒に参加してもらうことで、元気にあいさつを交わす学校にしたいと考えたようです。そこで、生徒会担当の正野先生に、「何人くらい集まっているの？」と尋ねました。「2年生が9人くらいです。新規生徒会役員になりたいという生徒たちです。」と教えてくれました。何よりも、生徒自らが、元気がないあいさつに疑問を感じる感性から始まり、なんとかしたいと動きだした活動だからいいんです。

体育祭の準備を中心になって行っている伊藤先生が、「3年生の生徒たちが、体育祭を盛り上げるには、もっと下級生、中でも1年生と交流する機会をつくりたいと言っていま

す。」と報告してくれます。そこから生徒会の3年生が考えた活動が、先週の生徒会集会で実施されました。1年生から3年生までの全校生徒が4～5名程度の小グループにわかれて、教室でレクレーションを行う企画です。人と人の心が氷（アイス）のように固まっているのを溶かしていく（ブレイクする）活動ということで、“アイスブレイク”活動と



呼びます。アイスブレイクは、140名くらいの集団を動かすので、教師主導でも大変です。ところが、生徒会役員の生徒たちが指示を出すと、あっという間に決められたグループに分かれて、それぞれの教室でグループごとのレクレーションが始まりました。3年生の生徒が進める活動は、強制的でもなく、それでいて後輩たちにさりげなく参加を促す、とっても上手なものです。「中学生ってすごいなあ」までも実感します。再び正野先生に尋ねると「わたしはまったく指示を出していないんです。生徒の方で全部考えました。」と教えてくれます。

こうした活動を行う原点には“感受性”があると思います。感受性がある人は、日々の暮らしや出来事の中で、ちょっとした変化や気づきを見出し、感動を感じることができます。そのような生徒の心を育てたいと学校は考えるのですが、生徒の活動を見て、“感受性が足りない”というのは違うなあと思いました。むしろ、今の中学生は“感受性”が豊かすぎるのかもしれませんが。人の気持ちが痛いほど分かってしまうことが多いため、自分のわがままを通すことが難しく、それでつらい思いを抱く生徒も多いです。他の人がなんとも思わないことでも、気になって眠れなかったり、必要以上に固執したりと、自分自身でもコントロールが難しく悩みを抱いている生徒もいます。感受性が豊かすぎて困っているのです

豊か過ぎて、その使い方や、役に立て方が分からないから、その宝が、体の奥深くにしまわれているような気がします。感受性の光を閉じ込めるのではなく、光を輝かせる場面が学校では必要なのでしょう。

1AのS・Aさんの新聞記事の感想の続きにはこう書いてありました。

「カメムシは出すにおいや見た目で見られることの方が多いと思います。なので、みんなに嫌われないために背中がハートマークになっているのかもしれないと考えたりしました。」

さりげない掲示物の中に、大人は感じることのできない“感受性”がきらりと光っていました。

きりとり

ご意見・ご感想をお願いします。

メールでご意見をいただいても構いません。 Shinyatk1616n@yahoo.co.jp